

●大館市エコフェア&マンモスフリーマーケット11

日時：7月8日(土)10:00~16:00 / 7月9日(日)10:00~15:00
 会場：ニプロハチ公ドーム (大館樹海ドーム) 大館市上代野稲荷台1-1
 問合せ：〈エコフェア〉大館市役所 環境課 環境企画係 TEL 0186-43-7049
 〈フリーマーケット出店〉6月23日(金)まで ニプロハチ公ドーム TEL 0186-45-2500
 HP: <http://www.jukaidome.com/> (フリーマーケット申込書はニプロハチ公ドームのトップページから)

●子育てと仕事の両立支援に対する助成活動

募集期限：4月19日(水)~6月30日(金)※当日消印有効
 対象：保育事業施設・放課後児童クラブ など(法人格を有していること)
 対象事業：放課後児童クラブ・保育事業等に必要施設の整備、備品の購入等に係る費用
 主催：東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル3階 生命保険協会「子育てと仕事の両立支援」事務局
 TEL 03-3286-2643 / FAX 03-3286-2730
 HP: <http://www.seiho.or.jp/activity/social/support/guideline/> (申請書をダウンロード)

●「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」第2期 第2回助成募集

募集期限：6月20日(火)~6月30日(金)※当日必着
 対象：東日本大震災の被災3県に団体本部がある、もしくは、被災3県のいずれかで、震災の影響を受けた人々や地域への支援を行う民間の非営利組織であること(法人格の有無や種類は問わない)
 助成金額：1件につき300万円~500万円(総額2,000万円を予定)
 助成期間：2017年10月1日~2018年9月30日までの一年間
 主催：認定特定非営利活動法人日本NPOセンター (東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル245)
 タケダ・いのちとくらし再生プログラム事務局(担当:長瀬・山脇)あてに郵送にて送付(持参不可)
 HP: <http://www.inochi-kurashijp/news/1795.html> (応募用紙をダウンロード)

●自動車購入費助成

募集期限：6月1日(木)~7月14日(金)17:00まで
 対象：特定非営利活動法人
 対象事業：主として障害者の福祉活動を行う団体(ただし、加齢に伴う障害者・高齢者の福祉活動団体は除く)
 主催：損保ジャパン日本興亜福祉財団(東京都新宿区西新宿 1-26-1)
 TEL 03-3349-9570 / FAX 03-5322-5257
 HP: <http://www.sjnkwf.org/>

●「あきたの文芸」第50集の作品を募集します

募集期限：6月1日(木)~8月31日(木)※当日必着
 対象：県在住、出身者、または県内の文芸団体に所属する満16歳以上の方
 募集作品：小説・評論、詩、短歌、俳句、川柳、エッセイの全6部門(投稿料1,000円、学生は無料)
 応募先：秋田県観光文化スポーツ部文化振興課「あきたの文芸」係(郵送先:〒010-8572 秋田県秋田市山王3-1-1)
 E-mail: bunkashinkouka@pref.akita.lg.jp
 HP: <http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/10856> (募集要項確認・振込記載例・応募票をダウンロード)



詳しくは、秋田県市民活動情報ネット: <http://www.akita-kenmin.jp/> をご確認ください

編集後記

犬は人より賢い、なぜなら彼らは知っていても口にしたりしないから(エミリー・ディキンソン)

誰かのために報われない努力を続けることは無意味なことではない。主人が帰らぬ人になったとも知らず、迎えに行き続けた犬のそうした行為を人は美しいと思う。己を偽ることなく日々を自分に正直に生きるものがあることは、それだけで真実の愛が失われていないという希望を抱かせるからだ。自分がそのように生きることはむずかしいけれど、せめて美しい行為を美しいと思える心はなくすまい。

ハチ公は今や大館だけではなく県を代表するキャラクターになりました。沈黙が語る愛は時を越えて人々に感動を与え続けています。(五十嵐)

秋田県北部市民活動サポートセンター

●編集・お問合せ先
 〒017-0842 秋田県大館市宇馬喰町43-1 秋田県北部男女共同参画センター内
 TEL:0186-49-8553 FAX:0186-49-8589

HP: <https://akita-north-civic-act.jimdo.com/>
 Facebook: <https://www.facebook.com/akita.north.civic.act/>

●業務時間
 月火水金(木曜定休) 9:00~18:00 土日 17:00まで(年末年始は休業)

●発行元
 秋田県 あきた未来創造部 地域の元気創造課



『んだすな』には、人と人が願いを共感し、協力しあえたらという想いが込められています

雨ぐらいがまんしくちゃ美しい虹は見れない

- 特集：知られざるハチ公
- 助成金活用にトライ!
- 活動団体紹介
- INFORMATION (助成金・イベント情報)



誰かを大切に思う気持ちは 時に奇跡を起こします
 生きる希望になったり 生きる目的そのものになったり...
 大館生まれの一頭の忠犬のお話は誰もが知っていますが
 その後ハチ公がどうなったのかはあまり知られていません
 ハチ公の魂は大切な人の元にたどりついたのでしょうか



〈特集〉知られざるハチ公

かつて大館犬と呼ばれていた秋田犬（あきたいぬ）は、いまや県を代表するキャラクターになりました。渋谷のハチ公像はあまりにも有名ですが、彼の魂はいまどこに眠っているのでしょうか



正月の渋谷ハチ公像



農学資料館

東京大学農学部正門の正門を入ると、正面にスタジイの巨木が見え、右には真新しい農学資料館、そして左側に2015年に新しく建てられた「上野英三郎博士とハチ公」像が見える。十年間渋谷駅に通い続けたハチ公が、九十年ぶりに上野博士と再会し抱きついているこの美しい像を訪れたならば、反対側の農学資料館もぜひのぞいて欲しい。

同僚で教鞭をとられた先生の胸像の脇に、現在国立科学博物館に複製となつて展示されているハチの遺体が病理解剖された際に保存した内蔵（心臓・肝臓・脾臓）が標本として展示されている。

解剖当時の結果から、肺水腫や肝臓維症とともに、心臓に寄生した犬心臓系状虫がひき起こすフィリリア症が死因とされてきたが、近年MRI観察をおこなった結果、心臓と肺が悪性の腫瘍（ガン）におかされていたことがわかった。

内縁であったため、希望しながら同じ墓に葬られずいた博士の妻・八重子さんも、ハチ公生誕90周年の2013年に遺族の賛同を得て、青山霊園の上野博士の墓に分骨された。

上野先生と八重子さんの眠る墓の側には、献花の絶えない小さな祠（ほこら）がある。2人を再会させたハチの魂は今も共に安らかに眠っている。

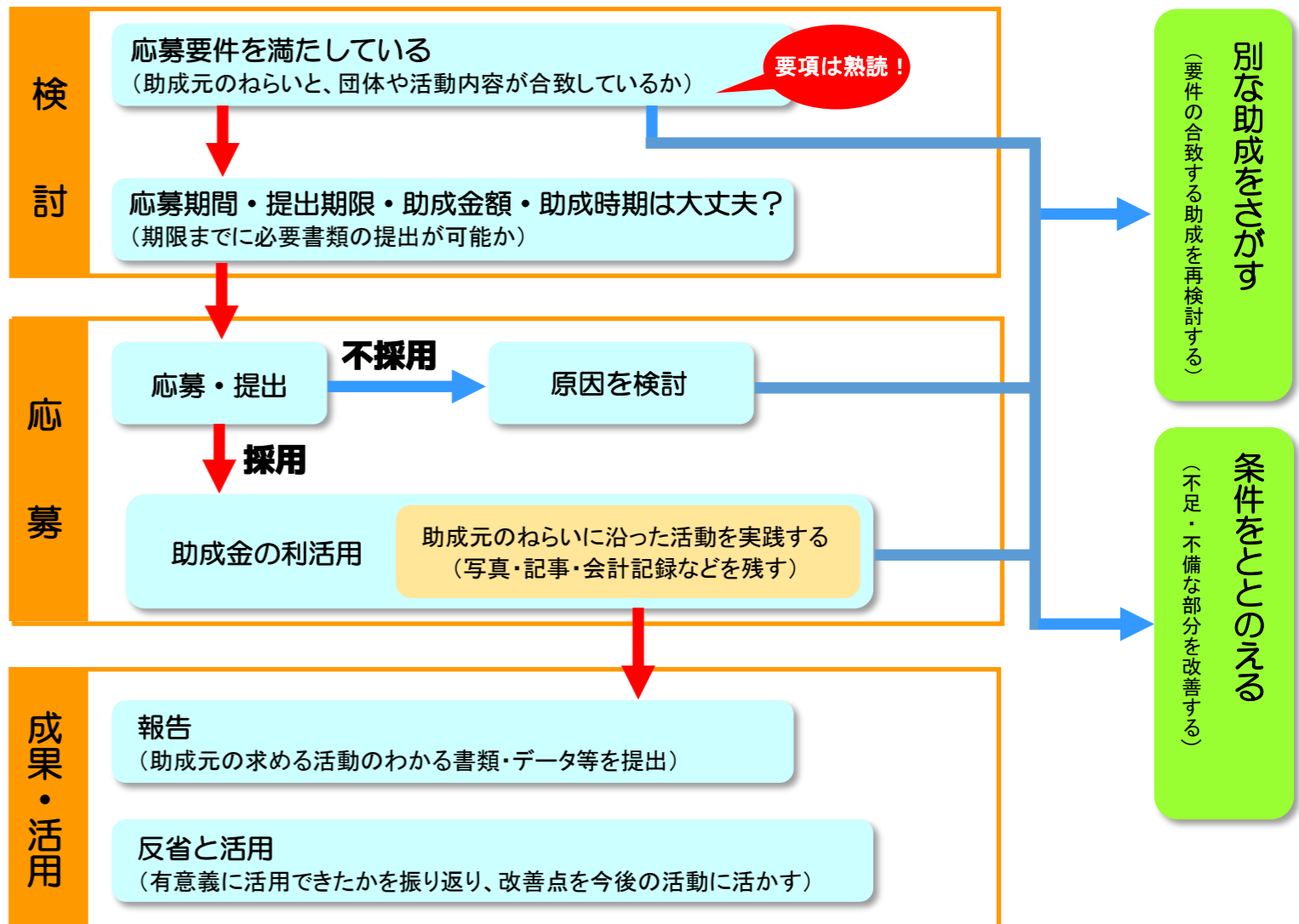
青山霊園
上野博士の墓と
ハチ公の祠



助成金活用にトライ！

NPOやボランティア団体が事業収益や寄付金だけで活動していくのはなかなか大変です。見過ごしがちですが、企業や助成団体が公益のために行っている「助成金」利用も視野に入れてみませんか

申請チェックフロー



助成金申請は、助成金を得るだけでなく、公益的な活動ができているかという、団体の活動診断にもなります。助成金情報は北部市民活動サポートセンターHPからどうぞ！

株式会社 紫鹿屋 SHIROKUYA

活動団体の紹介

- 住所 鹿角市花輪字外扇ノ間60-6
- 代表 大信田 恵
- 問い合わせ TEL 0186-30-1981 / FAX 0186-30-1982
- e-mail : info@shirokuya.jp
- 詳しくはHPへ <http://shirokuya.jp/>

CB(コミュニティビジネス)・Aターン起業

代表の大信田さんは、出身地である鹿角市に帰郷し、故郷の大地にはぐまれた野菜や山菜を、新鮮なうちに首都圏に届けるネット通販の会社を立ち上げた。

その時期の一番美味しいモノを届けたいという「何を」という客の要望に応じるのではなく、「今の旬」を、極め、選ばせていただくの「コーデイナー」である。

「わくわくの箱」（二千円〜五千円）と名づけた産地直送の宝箱は期待を裏切らない。

NPO法人工房JOYさあくる

●住所 秋田県大館市片山3丁目-56

●代表 鈴木 千里

●問い合わせ TEL/FAX 0186-49-6355

●営業日時 月～金(土日祝、年末年始は休み) 9:30～17:00(夏期)、9:30～16:00(冬期)

●詳しくはHPへ <http://www12.plala.or.jp/joy-sakuru/>

環境保全・障害者福祉・体験・地域拠点

様々なハンディを持つ、企業への就労が困難な障がい者、日々の活動拠点を提供し、自立就労支援を行うことを目的としている。

本人と家族、そしてサポーターが協力して取り組む事業は、リサイクル資源の分別・袋詰め・農産物・陶芸の制作・メール便の配達といったものから、廃油を原料としたバイオディーゼルの生成、リサイクル石けんの販売まで幅広い。

環境を守る取組の認知は進み、協力組織「大館市てんぷら油回収システム協議会」を通じて回収されたBDF(軽油代替)燃料は、市の公用車にも利用されている。

福祉と環境保全を結びつけた活動が維持継続されてきたことが評価されている。

NPO法人大館・小坂鉄道レールバイク

●住所(NPO本部) 秋田県大館市御成町二丁目15番22号

●代表 小棚木 政之(理事長)

●問い合わせ 携帯 090-1838-4005(取材など)

●運行等の問い合わせ・予約 長木溪谷コースインフォメーションセンター 0186-50-2555 (8:30～16:30) 冬季は閉鎖

●詳しくはHPへ <http://railbike.jp/>

観光・文化保存・体験・交流・地域活性・CB

廃線となった小坂鉄道にレールバイクを走らせ、観光資源として再生し、地域活性化に貢献してきた活動は、すでに県北地域に浸透し、大館から小坂、十和田湖までの観光の起点となつた。

積極的な活動は全国の廃線の再活用にも希望を与え、4月には、全国12道県の15団体が加盟する「日本ロストライン協議会」も立ち上がった。

今年度の運行は四月二十二日〜十一月五日までを予定しているが、時期によりコースが変動するため、利用前にHPや電話で確認予約して行くのがよい。

新緑から夏に向かう季節、長木溪谷で涼しい風を感じてほしい。

NPO法人あきた理科史料室

●住所 大館市川口字十三森95番地6

●代表 佐藤 和博(代表理事)

●問い合わせ 携帯 090-1064-8434

e-mail : taiyokei@kumagera.ne.jp

教育学習・文化保存・体験

少子化による学校の統廃合により失われつつある貴重な理科史料や実験器具の収集と展示を通じて、児童や市民の科学への関心を高めたいという思いで立ち上げられた団体。

秋田大学の協力も得た「子ども科学教室」や、「子どもおとなの科学教室」など、昨年度も積極的な活動を行った。

実用と機能を兼ね備えた精密な器具には科学に関心のない人もひきつける美しさもあり、後世に伝えたい教育資料も少なくない。

活動報告と情報交換を兼ねた「季刊あきた理科史料室通信CHMSA」電子版の発行など、科学教室や講座、講演会などとあわせて積極的に参加者・賛同者を募っている。個性豊かな活動に注目したい。